

---

# 本当の気持ち

ハナビラ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

本当の気持ち

### 【Nコード】

N3646C

### 【作者名】

ハナビラ

### 【あらすじ】

高校生になって初めて彼氏ができた鈴野ミキの学園生活を描いた青春ストーリー。

## 第一話：あの頃

セミの声が鳴り響き、蒸し暑い夏の出来事。

「鈴野、ちよつといいかな？」

「…うん。」

私、鈴野 ミキは同じクラスの木村 大河に呼び出された。なんとなく気付いていた。

私は彼に告白された。そして私はそれを受け入れた。

彼はバスケット部に所属していて、一生懸命な姿に私はひかれていった。しかしその恋は半年で終わりを告げた。

別れを告げたのは私の方。彼はなかなか納得しなかった。

別れようとした理由は…なんか違うと思ったから。付き合っていても直接話す事は少なく、ほとんどがメールでの会話。いつの間にか心が離れていった。

## 第二話：男友達

あれから1年が過ぎようとしてる。大河とは同じクラスだけあって  
気まずかったけど、もう1年もたつと普通になってきた。少しだけ  
ど話もする。でも私は彼に嫌われてると思う。時々睨まれてる気が  
するカラ…。

「ねえ、今好きな人いないの？」

「いないよ。」

「大河とどのぐらい付き合ってた？」

「ねえ、もうとっくに別れてんの!!！」

…このしつこいの奴は新城 拓哉。大河と別れてからよく遊ぶよう  
になった男友達。

別れてからは親友と呼べるほどの男友達が増えた。それはイイ事だ  
ろう。でもよく大河の事聞くから最近は妙に意識してしまう。いい  
迷惑だ…。

最近、拓哉と一緒に帰る事が多い。今日も帰るつもりだ。

周りには誤解する人が多いけど、私たちはただの仲いい友達だ。

「思いつきり遊びてえ〜」

拓哉がそう言った。

「私、花火したい!! みんなで騒ごうよ。」

「いいねえ。誰誘う? 大河(笑)??」

まただ…。本当に最近このネタでからかわられる。

「誘えば?? どうせ話さないもんね。」

「何でえー。」

ふと、前を見ると大河がこっち見てる。

やばっ今の話聞かれた!?

「あつ、いい所に!!大河あー!!来週一緒に花火やらない?」

え。ちよつと何言ってるんの拓哉!!

「楽しそうだね。俺も入っていいの?」

「もちろん!!なあミキ??」

拓哉はニヤリと黒い笑みを浮かべた。…最悪。

「…うん。」

拓哉が何考えてるか分かんない…。きつと私を困らせるのが楽しいんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3646c/>

---

本当の気持ち

2010年10月28日04時21分発行